

『Mind Charging』

第 39 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 24 日

レイモンド・チャンドラーの名言



If I wasn't hard, I wouldn't be alive. If I couldn't ever be gentle, I wouldn't deserve to be alive.

タフでなければ生きて行けない。優しくなれなければ生きている資格がない。

『タフ』という言葉の意味として、とても体力があるというイメージですよね。また、最近ではスポーツの試合のコメントで、接戦のことを『タフな戦い』と表現されることがあります。辞書を調べると、『頑丈なさま。強い体力と不屈な精神力を備えているさま。』とあります。

確かに、生きていくということは、命あるものとして当たり前のことですが、簡単なことではありません。日々の生活の中で思い悩んで心を消耗することもあります。常に誰にでも優しい自分であり続けることも非常に体力・忍耐力が要ることです。そういう意味で、生きていくためには間違いなくタフさが必要です。では、次の『優しくなければ生きている資格がない』という言葉。このコラムでも何度も述べていますが、やはり人間にとって重要なのは『愛情』だと思います。その形は様々で、厳しさもまた愛情という考え方もあります。

人は優しさ・厳しさの定義のようなものを時々間違えてしまうことがあります。本人が何もせずに済むレベルまでやってあげることは優しさとは違いますし、頭ごなしに否定や命令をすることは厳しさとは違うと思います。本当の優しさや、人の優しさへの感謝を持って生きていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

レイモンド・ソートン・チャンドラー(Raymond Thornton Chandler, 1888年7月23日 - 1959年3月26日)は、アメリカ合衆国シカゴ生まれの、小説家で脚本家。1932年、44歳のとき大恐慌の影響で石油会社での職を失い、推理小説を書き始めた。最初の短編「脅迫者は撃たない(英語版)」は1933年「ブラック・マスク」という有名なパルプ・マガジンに掲載された。処女長編は1939年の『大いなる眠り』である。長編小説は7作品だけで(8作目は後にロバート・B・パーカーが完結させた)、他は中、短編であるが、チャンドラーの長編はほとんど先に書いた中篇が元になっている。『プレイバック』以外の長編はいずれも映画化されている。死の直前にアメリカ探偵作家クラブ会長に選ばれた。1959年3月26日、カリフォルニア州ラホヤで死去。(Wikipedia 参照)